

	<h1>誠心ファミリー</h1>	<b>第</b>	発行日 令和2年4月20日(月)
		<b>26</b>	発行者 誠心会副会長 宍戸雅裕 呉市本通6-2-23 ☎/FAX 0823-25-0460 谷本誠一 E-mail: sss2001@nifty.com 谷本誠一HP <a href="http://www.sss2001.net/">http://www.sss2001.net/</a>

## 呉駅周辺再開発は財源明示せず そごう跡地へ公共施設は全く不要



▲呉駅前で再開発手法に苦言する谷本市議

呉市は令和2年度予算に、昨年度の1,500万円に続き、**呉駅周辺地域総合開発**に係る事業計画策定費を2千万円計上しました。

それに先立つ3月27日には、基本計画案を発表。その骨子は下記の如くです。

- ①駅前広場を旧そごう東側1階部分に拡張
- ②駅前広場2階にデッキを構築、店舗を誘致
- ③広場は国道31号線とし、国の直轄事業とする
- ④旧そごう建物の呉市地上権19%は全て売却
- ⑤旧そごうは公募選定事業者が複合ビルを開発
- ⑥呉駅舎橋上化を事業着手←追加で盛り込む

谷本議員は、基本計画段階で財源を一切明示

しなかったことを批判。広場拡張と公共施設設置により、旧そごうの一部地上権を呉市が購入する必要があります。そればかりか、民間事業者に補助金を出す可能性は高いと思われます。

駅前広場の国直轄事業といっても、2階のデッキ広場に呉市負担が生じないとは言えません。

ましてや**アーバンデザインセンター**と銘打ち公民学が連携しまちづくりの課題に取り組む組織の拠点を、複合ビルに公共施設として設置するのは言語道断です。市長の新たな諮問機関に止め、会議は市庁舎内で開催すれば十分です。

呉駅橋上化にはJRは負担しないことが明かですので、国庫補助も見込めません。つまり全額呉市が負担することになり財政難に陥ります。



▲再開発方針の旧そごう・農協と呉駅前広場

## 次世代モビリティ社会実験も無駄



▲水素燃料電池バス「SORA」の運行実験

呉市は昨年度の2千万円に続き、今年度にも**次世代モビリティ社会実験**に2千万の予算を計上。

昨年度は水素電池バスと自動運転二人乗りカーンをメーカーより呼び寄せ、社会実験と一般公開を行いました。これで実用化が図れることは一切ありません。まずは1億円以上するバスを民間事業者が購入して且つ黒字経営になるはずはなく、その赤字補填はまたもや血税に頼るしかないからです。ましてや、水素ステーションが市内1箇所しかない現状では、実用化は遙か先で時期錯誤も甚だしい、無駄な血税投入となるのは明白です。



## 【予算総体質問】クリーンセンター建替で炭化炉を提唱



▲焼却炉を備えるクリーンセンター

谷本議員は、令和2年3月3日の予算総体質問で、8年後を見据えた**クリーンセンター整備**検討費 851万円について質疑しました。再整備の際は豊町の**芸予環境衛生センター**の吸収統合も視野に入れていきます。

建て替えの際、二酸化炭素排出を大幅に抑制できる**炭化炉**にすることを提唱。焼却炉と違い、高熱で蒸し焼きにすることで、その後の有用化に直結します。既存の溶解スラグは結局実用化できなかったことへの反省です。

その上で隣接のし尿処理施設と連結したり、土壌改良剤で無農薬農業への施策展開にも活用が可能となります。

## 【12月一般質問】有機食材給食と環境農業への転換を！

12月12日の一般質問で谷本議員は、学校給食への**有機食材**導入を提唱。千葉県いすみ市は有機米、石川県羽咋市は有機野菜を全小中学校給食で導入を実現しました。

呉市では、米等殆ど農薬を使った敢行栽培なので供給が不足しているとの理由で教育委員会は難色を吐露。そこで、いすみ市のように有機栽培に転換する農業者へ補助金を支給して供給量を徐々に増やす施策転換を要望。併せて、市内唯一自所炊飯の**蒲刈学校給食共同調理場**から順次需要が小さい調理場へのモデル実施を提案しました。



▲安芸灘直送の蒲刈給食共同調理場

## 【12月一般質問】農地流動化促進で過疎地転入を図れ！



▲農地の取得を容易にした北広島町

谷本議員は12月12日、農地流動化へ向けた規制緩和策について一般質問。**農地法**では、**下限面積**を超えないと農地の貸借・売買の許可が下りません。それを**別段面積**として、谷本議員の要請もあつて12月1日から、市内全域10aが実現しました。これを圃場整備地区以外においては、0.01a（1㎡）に再緩和する北広島町方式、即ち事実上の農地法の規制撤廃を提唱したのです。

これが実現しますと、子育て家庭を都会から過疎地転入への呼び水にできます。即ち小規模農地での無農薬自給自足や営農転身で、**自然教育**をも実践できるのです。

## 【9月一般質問】老人集会所指定管理の抜本改革を提唱

9月5日に谷本議員は一般質問を行い、老人集会所指定管理の矛盾点を、条例との整合性を含め指摘しました。

市内37施設ある老人集会所では、稼働率の高低に関わりなく一律年間75,428円が**指定管理料**として支払われます。このことで、**指定管理者**たる各地区社会福祉協議会において、管理人の人件費格差が生じています。しかも指定管理は**請負業**たる収益事業に該当しますので、法人税納税義務も生じます。そこで谷本議員は、不公平を是正しつつ、**直営方式**を含めた抜本改革を提唱しました。



▲矛盾を内包している老人集会所



## 〔6月一般質問〕 地方卸売市場の民営化議論を加速化へ



▲呉市の台所を担う地方卸売市場

谷本議員は元年9月4日の一般質問で、**地方卸売市場**民営化を訴えました。同市場は平成20年度に中央から地方へ転換し、24年度から呉市地方卸売市場協会への指定管理へ移行。現在は第2次期間で令和3年度までです。

平成30年度予算の基礎調査費 700万円が未執行だったため指定管理期間満了までの耐震改修が間に合いません。

そこで谷本議員は、令和4年度から暫定期間に限定した**定期借家**で、その後に建物無償譲渡、無償借地を前提とした民営化方式を採用することを提案しました。

## 〔予算委〕 谷本提唱地域協働抜本改革が緒に就く

谷本議員が兼ねてから訴えていた地域協働体制抜本改革に関して質疑。ついに**住民自治組織あり方**検討として諮問機関設置に係る予算が30万円計上されたのです。

自治会役員がまちづくり委員会や地区社協、交通安全推進協議会、青少年指導員連絡協議会等役職を兼ね、それぞれ紐付き補助金が交付されているため、多くの口座を有している実態を打破するための見直しです。

他にも合併町のみ**地域ゆめづくり交付金**とは別途 300万円の**地域振興補助金**が交付されていた不公平も、2年度若しくは3年度から段階的削減され、統一されます。



▲地区まちづくり委員会の主催行事

## 〔議案質疑〕 安芸灘に義務教育学校創設を提唱！



▲中学と同一敷地内の蒲刈小学校

谷本議員は元年9月4日、元年度末を以て廃校となる下蒲刈小学校と同中学校に関し、議案質疑しました。それぞれ蒲刈小、蒲刈中が統合先ではありますが、事実上校区を撤廃し、仁方小中や川尻小中への選択を認め、その定期代を全額補助するという不公平な制度です。

このため、統合先の蒲刈小中学校の児童生徒数がなかなか増えず、将来的に同小中学校も廃校は時間の問題となります。そこで、これも将来廃校が避けられそうもない豊小学校・豊浜中学校と蒲刈小・中学校を統合し、小中一貫となる**安芸灘義務教育学校**創設を提唱しました。

## 〔民生委〕 指定ごみ袋の独占受注と無駄を指摘！

12月16日の民生委員会で谷本委員は、令和2年度から3ヶ年における**指定ごみ袋・シール**の契約5億1,200万円について質疑。平成20年度から有料化になって以降5回目の契約締結になるも、全て広島県薬業㈱が受注し、独占体制になっている問題点をあからさまにしました。

現在のロール式より平袋式の方が無駄が少なく、且つ安価であること、参入会社が増えて競争原理が働くことを指摘。100可燃袋では、東広島市の3.12円 に対し呉市では10.45円と、3.3倍にも膨れ上がっているのです。



▲ロール式可燃・不燃指定ごみ袋



# 〔令和元年度〕豪雨災害の爪痕残る中、谷本奔走！

## ①二河川中流護岸の災害復旧

H31. 4月末～7月

焼山中央を流れる二河川の中流護岸が平成30年豪雨災害で崩落。すぐさま県に要請し復旧施工。



## ②天応災害公営住宅の建設場所を提案

R元. 6/10

天応の災害公営住宅建設地に、ポートピアパーク第2駐車場が適地と提案し、採用されました。



## ③南隠渡2丁目市道法面と側溝を修復

R. 元6/25～7/6

音戸町南隠渡2丁目市道の張り出し法面を崩落防止対策で修復し、併せて側溝も補修しました。



## ④的場3丁目の排水路を延長接続

R元. 7/24～

豪雨災害時に路面に溢水した教訓を下に、側溝流水路の進路変更と延長で河川へ繋ぎました。



## ⑤狩留賀国有林災害復旧で土石流対策

R元. 9/25～R2. 3/13

豪雨で治山土留めが崩落し全壊に繋がったことを防ぐため、土石流安全工等を施工しました。



## ⑥警固屋9丁目治山堰堤の災害土砂撤去

R元. 10月

豪雨で被災した集落を防護するため、3基の治山堰堤に溜まった土砂を最大限撤去しました。



## ⑦宮原2丁目8地区急傾斜対策を仲介

R元. 10/28～R2. 2/3

老朽化した急傾斜地崩壊対策法面の再工事で、流末水路の民地内配水の分散を調整しました。



## ⑧栃原町の市道側溝を浚渫、補修

R元. 1月～1/16

豪雨で路面溢水が続いた栃原町市道において、側溝の3箇所を浚渫し、併せて補修しました。



## ⑨阿賀中央JR海岸通踏切路面を補修

R2. 2/21～22

阿賀中央のJR海岸通踏切で、線路を交差通行する車両の騒音防止対策で路面を補修しました。



## ⑩曙公園の滑り台を取り替え新設

R2. 2月～3/9

本通5丁目の曙公園にて、老朽化した危険な滑り台を撤去後、新品の滑り台を設置しました。

